



「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」

11月10日（水）にオンラインで開催します！！

東北大学災害科学国際研究所 今村所長による基調講演のほか、学校と地域が連携した学校防災体制の構築に向けて、地域・行政・専門家が様々な視点からディスカッションを行います。

各学校の防災主任の先生は、地域別防災主任研修会として、各会場にてオンラインでフォーラムに参加することになります。

時間	内 容
9:30～ 9:35	【開会行事】 挨拶 宮城県教育委員会 教育長 伊東 昭代
9:40～10:40	【基調講演】 「東日本大震災等の教訓を踏まえた今後あるべき学校防災の強化に向けて」 東北大学災害科学国際研究所 所長 今村 文彦 氏
10:40～10:50	休憩
10:50～12:10	【地域と連携した防災体制の構築に向けたパネルディスカッション】 <ファシリテーター> 宮城教育大学 学長付特任教授 野澤 令照 氏 <パネリスト> ①専門家代表:東北大学災害科学国際研究所 准教授 柴山 明寛 氏 ②地域代表:気仙沼市大谷地区振興会連絡協議会 会長 高橋 利夫 氏 ③行政代表:丸森町総務課消防防災班 課長補佐兼班長 石田 真士 氏 ④教育委員会代表:気仙沼市教育委員会学校教育課 課長補佐 紺野 知子 氏 ⑤学校代表:石巻市立青葉中学校 主幹教諭 飯野 泰志 氏
12:10～12:15	【閉会行事】 挨拶 東北大学災害科学国際研究所教授 防災教育国際協働センター長 佐藤 健

<視聴方法>

インターネットを使用できる環境で、PCやスマートフォン等で下記のURLにアクセスするか、QRコードを読み込んでください。

https://www.youtube.com/channel/UCYM-_jzsgFJ9Ctr4IV1UbWw

防災主任の先生に限らず、どなたでも視聴いただけます！！
 オンデマンド配信も行いますので、後日視聴することも可能です。
 ぜひ、ご視聴いただき、未来へつなぐ安全教育について一緒に考えてみませんか。



町内学校防災関係者と災害時の避難行動や避難所開設等を研修 (涌谷町教育委員会と涌谷高校の合同開催)

涌谷町教育委員会では、これまで、学校防災担当者会を定期的に行い、幼稚園・小学校・中学校に、涌谷高校及び、町防災部局の担当者等を加え、町の防災の取組について、ともに考えてきました。

9月22日(水)に行われた第2回涌谷町学校防災担当者会は、涌谷高校が県教委の「地域連携型学校防災体制等構築推進事業」実践協力校の指定を受けていることから、涌谷高校教職員の校内研修と合同で開催されました。

参加者は45名で、町防災部局や遠田消防署の担当者も参加されました。

今回の研修は、地域の災害特性や災害初動期の避難行動や避難所運営について、町と学校が情報共有しながら理解を深めることを目的に開催されました。

講師に、涌谷高校の学校防災アドバイザーである、東北大学災害科学国際研究所教授佐藤健氏を招き、「指定緊急避難場所への避難行動と指定避難場所の開設・運営(洪水を中心に)」と題して、講演が行われました。

講演では、主に以下の話がありました。

- 要配慮者利用施設における避難確保計画を検討する際のポイント
 - ・緊急避難場所としての指定状況の把握
 - ・避難の判断に参考となる気象情報等
 - ・ハザードマップや地形図を活用した検討等
- 災害に備え、学校と地域とが連携を進めていくためのポイント
 - ・地域住民との避難方法の事前の共有
 - ・地域との日頃から顔の見える関係の構築や連携した訓練の実施等



研修会での講演の様子

鉄道会社と連携した安全教育の実践事例紹介(石巻市立前谷地小学校)

9月28日(火)に、石巻市立前谷地小学校では、1・2年生の児童を対象に交通安全教室が行われました。

同校の校区には路線があり、多くの児童が登下校や生活の中で線路を横断しています。

そこで、「踏切や路線における事故防止」のため、JR東日本仙台支社の方を講師にお招きし、踏切や線路での安全な行動の仕方について、紙芝居を用いて分かりやすく教えていただきました。

また、「模擬踏切による渡り方の訓練」では、踏切での安全確認や渡り方について、児童一人一人に対し、講師から丁寧な説明がありました。

児童たちにとっては、声を出しながら左右の安全を確認するなど、自分たちの日頃の生活に生かせる体験ができた良い機会となりました。

